“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～

福岡教育事務所・社会教育室

事業名	令和５年度福岡教育事務所管内「学校を核としたつながりづくりセミナー」
期　日	令和５年９月１５日（金）
参加者	５１名
日　程	

時　　間	内　　容
13:15～13:30	【受　　付】
13:30～13:35	【開会行事】
13:35～13:50	【説　　明】 「本セミナーの趣旨と進め方について」 福岡教育事務所教育指導室　指 導 主 事　　関　　尚 幸 社会教育室　社会教育主事　　坂 本　美 佳
13:50～14:25	【実践発表】 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」 筑後市立筑後北小学校　校　　長　　松尾　泰弘　氏 地域学校協働活動推進員　　篠 原　　弘　氏
14:25～15:15	【講　　話】 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」 下関市立大学　教養教職機構　准　教　授　　天野　かおり　氏
15:15～15:25	【休　　憩】
15:25～16:10	【演　　習】 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」 福岡教育事務所社会教育室　社会教育主事　　坂 本　美 佳
16:10～16:15	【閉　　会】

<table>
<tr>
<td>活動の
実際</td>
<td>
【実践発表】
筑後市立筑後北小学校　校長　松尾　泰弘　氏、地域学校協働活動推進員　篠原　弘　氏に「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動～学校と地域の強みを生かし、弱みを解決しながら連携する地域学校協働活動をめざして～」と題して実践発表していただきました。
筑後北小学校は令和４年度に学校評議員制度からコミュニティ・スクールに移行し、その後、地域学校協働活動を本格的に始められました。導入期の取組として、地域学校協働活動推進員の選任は、既存の組織を活かして行ったことや、活動を行うことで教師の負担を増やさないように、学年ごとに教科等から一つの活動を設定したことをお話いただきました。また、地域学校協働活動を行うにあたって、サポーターに学習のゴールを伝えるために期待される児童の姿や感想で共有を図ったことを発表していただきました。

【実践発表　筑後北小学校発表の様子】

【講話】
下関市立大学　教養教職機構　准教授　天野　かおり　氏に「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」と題してご講話いただきました。
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していくための学校と地域の役割や円滑な実施のために行政が果たすべき役割について分かりやすく整理してお話いただきました。
一体的な推進を行うためには、特に連携・協働の目標・ビジョンの共有が必要であり、携わる人全てが地域の子どもを育てていく当事者意識をもって取り組んでいくことが大切であることをご教示いただきました。

【講話　質疑応答の様子】

【演習】
福岡教育事務所　社会教育室　社会教育主事　坂本　美佳が「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」と題して演習を行いました。はじめに、筑後北小学校での実践を基に、実践発表や講話での学びを活かし、グループで、仕組みや取組の改善策を考えました。次に、個人で自身が携わっている地域について考え、グループ内で交流を行いました。それぞれ異なる立場で交流したことで新たな気づきがあったようです。

【演習　グループでの活動の様子】
</td>
</tr>
<tr>
<td>全体を
通して</td>
<td>
参加者アンケートでは、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が混同されているのを実感していたので、整理できた。」や「それぞれの立場からのリアルな話が聞けたこと、改善が考えられたことが収穫である。」などの記述があり、参加者にとって有意義なセミナーになったと考えます。
一方、「どの項目も時間が短い。もう少し時間をかけて詳しく話が聞きたかった。」や「セミナーをもっと早い時期にしてほしかった。」などの記述がありました。
今後は、参加者が地域での実践に活かせるように時間や時期の設定を見直し、さらに有意義なセミナーにしていきたいと考えます。
福岡教育事務所といたしましては、教育指導室と社会教育室の共催で本セミナーを実施しました。そのことで、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の仕組みや、それらを一体的に推進するメリットについて発信することができました。今後も管内市町に対して、研修や好事例の紹介等を行い、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進の支援に努めます。
</td>
</tr>
</table>